静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

10月1日土曜日
昭和52年（1977年）

昭和49年5月1日第三種郵便物認可

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　堀田　哲爾
清水市七ッ新屋 291
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市真砂町1－12
編集専用電話66－5282（代）

毎月1回1日発行　1部30円

PEPSI

全清水FC7年目の快挙！

52年ジュニアサッカーサマーフェスティバル
全部門で優勝！

▽　第七回ジュニア・サッカー・サマー・フェスティバルは全国の小・中学生フットボールクラブ三十二チームが参加、八月二十七日から二十九日まで、神戸市立中央球技場を中心に四会場で開かれ、三日間にわたって熱戦がくり広げられ、学年ごとにわけた一―六部で清水フットボールクラブが全て一位を独占した。

▽　▽　▽　▽　▽　▽

▲中学1年チーム

▲小学校6年チーム

▲中学2年チーム

▲小学校5年チーム

▲中学3年チーム

▲小学校4年チーム

小四年清水FC、六年清水FC、中学一年、二三年と六部門全て清FCの優勝が決まった。

良いプレーヤーをてるために神戸FC加藤正信氏がはじめた西日本少年サッカー大会も、日本のサッカー界を代表する大となった。

技術と大会規模、して運営全ての面でーフェクトの大会でった。そしてもう一清水FCが全てのタイトルを完全優勝で飾り日本を代表するFCとして名をならしめた。

第一回大会参加以来七年目の初の快挙である。毎年一つは落としていた。昨年は中二が一昨年は中三が、その前の年は五年生が落としたり同率優勝だったりして完全ではなかった。本年は充実した選手づくりに成功、しかも参加者を十六人と少なくしたのも選手のやる気をおこしたもとになった。

もう一つは毎年の中学三年生とのいきごみのちがいがあった。中三は全員参加させるのが清水FCの慣例のため、ゲームに出ない者がともすると足を引っぱる原因をつくっていたが、今年の三年生はちがっていた。

まず宿舎では一、二年生がトランプをやっている中で勉強をしていた。英語、数学、国語とお互いに相談している者、一人でやっている者と、三年生全員が一生県命とりくんでいる。そして朝六時三〇分には全員がブラジル体操とランニングをはじめている。

浄見、古川コーチの指導力もあったが選手一人一人がおごるところなく、すなおな生きざまに合うことができてたいへんうれしかった。

今後の中学生の集団の理想をつくり、清水FCの中三の姿勢のサンプルをつくってくれたことは今後の大きな力となるであろう。

ブラジル遠征の決定の中一、中二の生活態度にも大きな見本となったであろう。

少年サッカー指導教程 ⑯

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

個人戦術――マークの原則

一人が一人の敵をマークする

1対1に強くなることがここでも要求される。ボールをもっている者の強さと同様、それをうばえる力も必要である。

自分の近くにいる敵をまずマークせよ

自分のプレーしているすぐ近くにいる敵は自分のプレーの中に入れておくこと。ボールのない時にマークする時、ゴールに近くなるほど危険は増大するから、その地域を各自が分担して守り、そこに入ってくる敵を防ぐことが大切。これをゾーンディフェンスといい守備の基本である。

マークの引きつぎを大切に

一つのプレーを忠実にやろうとすると、他のプレーヤーはどうしても他のプレーヤーにまかせなければならない時がある。特にマークの仕事ではその分担をお互いにひきつぎ合うことが大切である。

しかし最も大切なことは危険度の判別を正しく知って一瞬でも目を離せないことを理解する必要がある。

その危険なものとは

①ゴールの前方でボールをもっている者

②ゴールの正面にいるプレーヤー

③危険なパスを受けようとしているプレーヤー

④味方の後方をつこうとしているプレーヤー

⑤スペースへ走りこもうとしているプレーヤー

⑥それらにボールを送ろうとするプレーヤー

以上六つのうち二つはボールを持っている者、他の四つはボールを持ってはいないがチェックをおこたってはいけないプレーヤーであることを忘れてはならない。

（次はマンツーマン・ディフェンスの原則）

室蘭大谷高校創立記念招待サッカー
清水東イレブン北海道に遠征！

室蘭大谷高校創立二十周年記念招待スポーツ大会に姉妹都市の関係もあって、かつてからの交友関係の深い清水東高校が招待された同時に清水東OBチームも参加、雨の中熱戦がくりひろげられた。

稲名新市長、岩崎茂スポーツ少年団本部長も同行し交歓に花をそえた。

今後のスポーツ交流も各種別に行う計画もでき、スポーツ姉妹都市の色が濃くなりつつある。

サッカー試合はOBが先に行われ前半、2点をもぎとり勝った。

年令は北海道が平二十六才、清水は三五才とあって大分ハデがあったがよくがばった。

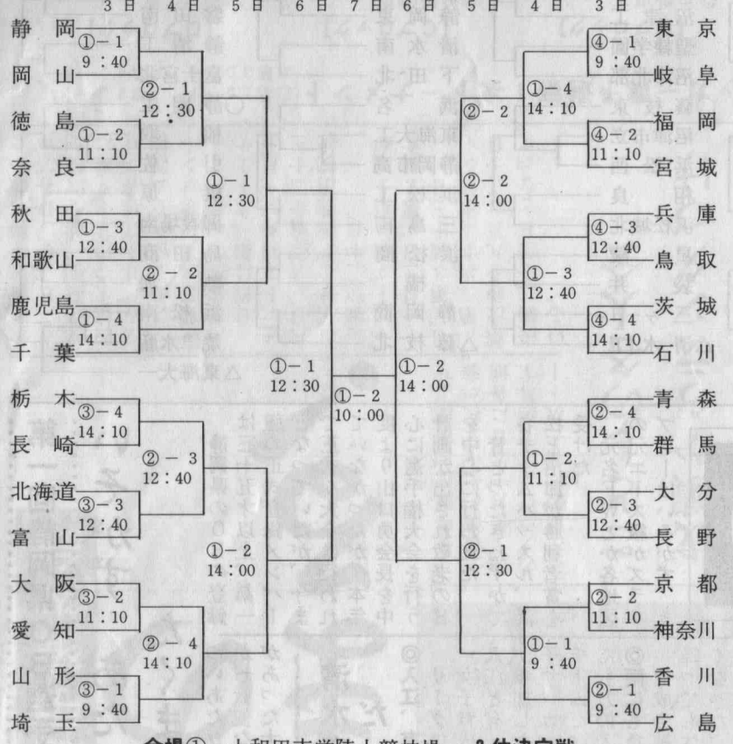
清水東もOB同様半リードされたが村飯沼らの活躍で2対1とした。

昭和五十二年度国体サッカー
少年の部（高校）組合わせ決まる！

本年国体出場の少年の部は一回戦岡山と対戦し、準決で埼玉と対戦すると思われる。組合わせよく、期待できそうである。

ユースの選抜大会から予想される点では広島、東京、兵庫あたりが上位チームとなるであろうが、それらのチームは逆のブロックにあり、長崎と埼玉も準々で対戦する組合わせである。

昭和52年度国体サッカー少年の部組合わせ



コーチングパターンで大奮闘！
――コーチングスクール

年間コーチングスクールにも中島孝志主任コーチのもとにスケジュールの中盤をむかえたが、各受講生が熱心にトレーニングにはげんでいる。現在ティーチングパターンが中心で指導案づくりの工夫と、小中学生の指導法でがんばっている。

今年はうまい子だけを教えるだけでなく、初心者には何を教えるか、日本サッカー協会の指導教程の理解をふくめながら行われている。受講生は次の通り

宮沢　悟　小林久朗
牧田隆明　田中　徹
下山彰治　三浦博和
塩坂健一　石原克真
平岡立至　長沢一正
青木巌太郎　山本誠夫
武蔵信男　高橋和裕
鈴木竹雄　青木次郎
石井嘉一　河村利和
望月丞一郎　大島英俊
堀　正史　村田雅一

第一回県少年ミニサッカー大会
10月8日開幕！

田中屋伊勢丹の屋上に人工芝のミニサッカー場が完成、これを記念して県少年ミニサッカー選手権大会の開催が決まった。

なお優勝チームは関東で行われる少年ミニサッカー大会優勝チームと対戦する。

第1回静岡県選抜少年ミニサッカー大会要項

目的　少年時代スモールゲームによって育つ技術は計り知れないものがある。特に狭い場所での対敵動作や相手の逆をつく動きやプレーは大きなグランドになっても役立つ。そして基礎体力とバランスの良い少年に育つことを目的とする。

主催　静岡県サッカー協会
後援　田中屋伊勢丹　SBS　静岡新聞社
主管　静岡県サッカー少年団育成協議会
期日　昭和52年10月8日(土)　9日(日)　10日(祭)
場所　静岡市御幸町　田中屋伊勢丹屋上ミニサッカー場
出場チーム　県内16チーム（登録小学生　1チーム10名）
出場割当　西部2　志太2　藤枝1　榛原2　静岡3　清水2　庵原1　東部3
申し込み　清水市押切 450　高部団地 3－321　小島鋼雄
〆切　9月20日　必着
ルール　日本サッカー協会ミニサッカールールに基く　審判1名は各チームで確保　交通費は参加者負担

サッカーマン憲章作る

清水サッカー協会総務委員会、社会人部は『サッカーマン憲章』を発表した。人と人、人とボールとの楽しい交流を一層充実するためのルールが確立されここに努力の一歩を踏み出した。

この『サッカーマン憲章』は社会人の個人登録者全員に配布される。

サッカーマン憲章　清水サッカー協会

一、チームについて
(一)各チームは清水市サッカーの発展と各クラブ員相互の親睦を図る。
(二)各チームは良き社会人の形成者を育成する。
(三)各チームは清水サッカー協会が行う催しに積極的に参加する。
(四)各チームは清水サッカー協会の規則を守り、規律正しいチーム作りをする。

二、サッカーマンについて
(一)サッカーマンは清水市サッカーの発展と各クラブ員相互の親睦を図る。
(二)サッカーマンは良き社会人として規律ある行動をとる。
(三)サッカーマンは常に心身とも健康であるよう心掛ける。
(四)サッカーマンは清水サッカー協会が行う催しに積極的に参加する。
(五)サッカーマンは清水サッカー協会の規則を守り、チームの向上に努める。

ペレ！さようならイン・ジャパン
迫力あるコスモス！
六万六千人入場新記録
清水から二〇〇人参加

ペレ、ベッケンバウアー、キナーリヤ、トピッチ、アルベルト、どの選手も世界のサッカー界では何かのNO・1をとった人達である。

ワールドカップの中盤を見ている感じは絶妙なパス、すばらしい突進、華麗な動き、そして豪快なシュート、サッカーにおけるいくつかの魅力を出せるチーム。これがコスモスの人気ではないだろうか。

日本最大のスタジアム、国立競技場も一九六四年東京オリンピックでつくられた入場者の記録を破る新記録をつくった。日本のサッカーの新しい時代に入る一つの大きなまつりごとだったのではないだろうか。それだけに全日本はもっとがんばってほしかった。みんなが満足したのは外人のプレーと釜本のプレーだけだったのではないだろうか。

ペレのさよならゲームだけに、ペレをたのしく見たのは良いが、その対戦する全日本のプレーを正しく評価しなくてはならない。

若手がのびて来たが何よりシュート力がない。シュート、シュート！　今後の大きな課題を七万人の大観衆は気がつかなかったのではないだろうか。

全日本に期待すると同時に、個々の選手がシュートに時間をかけてはげむことを期待したい。

編集ノート

先月に引続いて今月もトップの記事は、清水FCの優勝報告である。各部門六枚の写真は西に東に大奮闘した少年たちのためにスペースを大きくとった。来年の夏はブラジル遠征に参加する幸運な少年たちもこの中にいる筈である。来年の夏に向かって大いに頑張ってほしい◆全国高校サッカーの県予選は十六日に開幕、県代表の座は十一月二十三日に決定する。各校イレブンの健闘に期待したい◆九月も下旬になり異変といわれた夏も去り初秋らしい気配の日が続くようになった。「サッカー新聞の編集は倒産の記事も必要ないし、敬老の日に自殺した老人の数も関係なし、進学問題に悩む少年たちの日常も、ささやかな庶民の預貯金の利子引下げも全然関係ない。君は本当に呑気でいいと思うよ。」昨夜遅く同業の友人からかかってきた電話である。何か当方も一言いわねばと考える暇もなく「たまには新宿へも顔を出せよ、うまいもん喰べさせる店があるんだ。」で電話は一方的に切れた優勝記事の明るさが編集者を楽天的に思わせるのだろうか。今日も各社夕刊の社会面の見出しは深刻に暗い。（二本木）

全国自治体大会
藤枝市役所優勝

全国自治体サッカー大会に出場した藤枝市役所は、昨年優勝の青森五戸市役所と決勝戦で対戦、再延長の末、優勝を分け合った。

五十二年度全国高校サッカー選手権大会
県予選大会の組合わせ決まる！

今年度は前年度より三校減の七十三校が参加、十月十六日に各地のグラウンドで開幕する。別表の第一次トーナメントを勝ち抜いたA、B、C、D各ブロック四校、計十六校が四校ずつのリーグ戦に進み、リーグ戦各ブロックの1位チーム四校が第二次トーナメント（準決勝）に進出する日程は第一次トーナメント1回戦が十月十六日、2回戦が二十三日、リーグ戦進出校決定戦が三十日。

リーグ戦は第1戦が十一月三日、第2戦六日、第3戦十三日。

第二次トーナメント準決勝十九日と二十日決勝二十三日となっている。

ことしの各大会
成績からランクづけ
第一シードに
静岡学園 自動車工
浜松湖東 清水東
清水商 静岡工
藤枝東 浜名 は
第二シード

ことしの各大会の成績をランクづけして、県高校総体ベスト4の自動車工、静岡学園、浜松湖東、清水東が第1シード校に、以下勝率、得失点差などから浜名、静岡工、清水商藤枝東が第2シード校に決まった。

第3、第4シード校も同様に決められた。

少年サッカーとチームプレー
上みてくらせ 下みてくらすな

さわやか杯の準々決勝で清水FCが浜松と接戦、PK戦の末やっと勝って、次の試合はとてもすばらしいゲームを展開、この大会でも二連勝した。

この浜松との試合のとき、次の対戦相手である全静岡のイレブンのほとんどの人が浜松の応援をしていた。

清水には勝てっこないが浜松には勝てるかもしれない……というのぞみを託した応援であった。

その中に一人だけ一生県命清水を応援していた少年がいた。

「清水がんばれ、清水がんばれ！」とはちきれそうな声で応援していた。

「納谷君、なぜ君は清水を応援するのかね。」と聞くと「強いからです。ぼくは準決勝は清水とやりたいです。」と答えた。

わずか十一才の少年がすばらしいスポーツの世界を知っているのにはおどろいた。トーナメント大会では自分の相手がなるべく弱いチームであるように願い、優勝候補と対戦すると「運がわるいっけ」で解決してしまうことの多いスポーツの世界で、この少年ほど自分の技術の向上を考えて望んでいるのを見たことがなかった。

準決勝ではこの少年はつらつとプレーしていた。もちろん全静岡の中ではとびぬけてうまかったし、そのファイトは清水の少年もどぎもを抜かれた。

清水が負ければよいのに……と願っていた少年たちとは全くプレーがちがっていた。結果は4対0で清水の勝利であった。本部に一列に並んだ全静岡の少年があいさつにこしながら中で一人納谷少年は泣いているのである。

くやしい!!そしてぼくはもっとうまくならなければ勝てない!!そんな涙だったであろう。

江戸の人々の生活の中に〝下みてくらせ、上みてくらすな〟という風潮があり、出るクギは打たれる日本人の悪い人生感みたいなものがあったが、現代の子どもには常に上を見てくらせ、下見てくらすのは……の考え方が必要である。

特にサッカーの技術では高い地点にそろえること、その中からまたとび抜けて高い技術をつくり出そうとする心がけ――が大切である。（哲）

清水小マドモアゼル 全勝優勝
――育成会女子の部

育成会女子ママさんサッカーリーグは一回戦総当たり、四チームで行われたが、清水小マドモアゼルが全勝優勝した。

試合は各試合とも熱戦がくりひろげられ、特にチャイルドスクールのママさんでつくられている清水フェアレディと清水マドモアゼルの一戦は俗にいう〝ゼニになる試合〟だった。

なお第二回は入江と有一が新たに入会し六チームのリーグ戦が行われる。

組合わせは次の通り。

清水市サッカー少年団育成会女子の部第二回

▼第一節 9月29日
清水―東海
入江―高部
チャイルド―有一

▼第二節 10月27日
東海―入江
有一―高部
チャイルド―清水

▼第三節 11月24日
清水―有一
入江―チャイルド
東海―高部

▼第四節 1月26日
チャイルド―東海
清水―高部
有一―入江

▼第五節 2月16日
東海―有一
入江―清水
チャイルド―高部

☆第一回結果
清水 3勝
チャイルド 2勝1負
東海 1勝2負
高部 3負

清水市小二 水戸度 有
サッカー部のあゆみ発刊

有度山の中腹に新設された有度二小も今年で開校十年を迎えることになった。そこで今までの成果をまとめ、ひとつの節にと考え、学校内外での児童の活動をまとめることになりました。

サッカー部も創立以来の『あゆみ』をまとめ一冊の本として発行し、いばらの道から今日ある姿を、どう歩いてきたか資料を中心に百ページにまとめられました。

この間、各種の大会での活動、部独立の行事、招待サッカー、遠征と内容豊かでこれからの少年サッカーのあゆみの参考になればと思います。

特に五十一年度の中県大会の優勝までのチームづくりにかかったまでの努力のあとがうかがえる。

希望者は有度二小・小島先生まで申し込まれたい。発刊予定は十月二十日。

PEPSI

全国高校サッカー県予選第1次トーナメント

◎第1シード　○第2シード　△第3シード　×第4シード

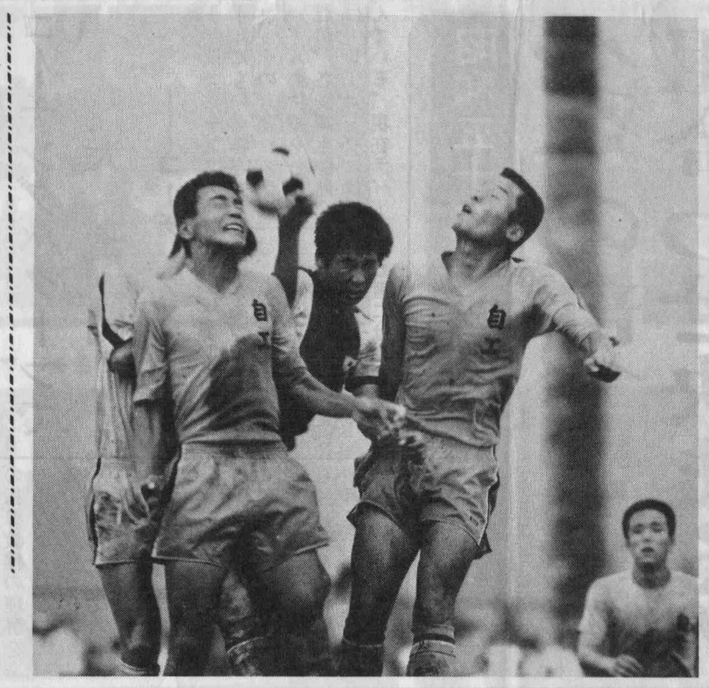
【Aブロック】
◎静岡学園
田方農
気賀
農業経営
沼津商
×焼津中央
二俣
島田
袋井商
○清水商
富士宮農
中遠工
天竜林業
修善寺工
新居
川根
伊東商
△興誠

【Bブロック】
◎自動車工
静岡西
掛川西
沼津学園
島田工
×浜松北
沼津工
聖隷学園
沼津北部
○藤枝東
沼津市立
浜松西
相良
浜松城北
星陵
袋井
三ヶ日
△清水工

【Cブロック】
◎浜松湖東
浜松日体
静岡高
磐田農
韮山
×日大三島
静岡東
清水南
下田北
○浜名
東海大工
静岡市高
浜松工
三島南
浜松商
橘
静岡商
△藤枝北

【Dブロック】
◎清水東
吉原工
小笠農
島田学園
富士
×吉田
磐田南
静清工
富士宮北
○静岡工
稲取
引佐
榛原
御殿場南
島田商
熱海
浜松南
焼津水産
△東海大一

優秀選手トレーニングセンター
個人技の上達目立つ



県サッカー協会技術委員会が中心になって行われている日本で初めての優秀選手トレーニングセンターの受講生は、チームプレーに使われる個人技の開発をそれぞれ持ち、個人技のトレーニングにはげんでいるが宮本、渡辺、成島の静学コンビは抜群のボールコントロールをみせ、成島はスピードもついてきた遠藤、中村はまわりをみる力がついてきたが下半身のバネと筋の持久力の不足を補うトレーニングをしている。

佐野は持ち前の突破力を、中学生の内田、望月、芝田は変化のあるボールの持ち方、北星の池谷、三中の鍋田は二ヶ月八週おくれて追加参加者として加入したが、この間の差がはっきり表われている。

プレーの基本は、ボールを持てて仕事ができること、相手がいても気にせずプレーが正しくできること、その プレーができるまでトレーニングすること、これらがトレセンの基本であり、トレーニングの基本である。

一年後、五年後のこれらの選手を見てほしいものである。目的はただ一つ、胸に日の丸をつけることであるほか何もなく、一時間半汽車に乗って参加し、その価値のある一時間のトレーニングのわかった人が、日の丸のつくことを忘れてはならないだろう。

第一回静岡県OB選手権大会
いそがず あたらず たくましく

静岡県のOBの登録は三十五才以上、第一種の正式登録メンバーとなっていたが、今まで正式な大会は行われていなかったが、本年度より山口勇会長を中心に選手権大会を行う計画が出され敬老の日を中心に行われた。

昔とったきねずかで各チームハッスル、浜松と沼津が勝利者賞を受けた。

元名FWとか各地区の元エース級がズラリプレーはいそがず、きついあたりはなく、しかし大変なたくましさがあった大会であった

清水育成会だより

◎入江、有一ママさんリーグに参加

女子育成会リーグに入江と有一のママさんが参加した。入江は女子サッカーは日本一のチームだけに、ママさんも力の入ること。

◎雨にも負けず

育成会練習会も雨が降っても休むことがなくなった。清水小では雨天は体育館で、有一ではランニング、他のチームもミーティングが多い。ミーティングはビールが飲めるので「雨ふれふれ」の育成会も？？？

◎小河内がんばれ

初参加で経験者のない小河内、飯田と有一に二ケタ得点、それでも石川先生中心にがんばってます。少し手加減を……といえば「そんな同情はいらない！」

◎得点王はだれ

得点王は飯田の杉山さん20点、有一の塩坂さん18点、入江の中島さん15点、三年連続得点王をめざす清水小の王様は現在18点。さていよいよおもしろくなるよ！　本年度は最も失点の少ないゴールキーパーも表彰されるとか？

◎山口君のおとうさん死去

東海小五年のエースであり、清水クラブの山口君のおとうさんがなくなられた。山口君のプレーをいつもグランドで応援していた姿が目に浮かぶ。安らか

西豊田小創立記念招待サッカー大会
清水小優勝

九月十一日県下より八チーム招待で行われた西豊田招待サッカー大会で清水小が準決で九能に7対1、決勝で青葉を延長の末1対0で破り優勝した。

リーグ戦中であり、一日三試合のスケジュールによくがんばった

昭和52年度 ═══ 第10回 ═══
静岡県サッカースポーツ少年団大会要項

昭和53年2月11日　12日　13日

静岡県サッカー協会
静岡県スポーツ少年団本部

主　旨　県内サッカースポーツ少年団員が，サッカーを通じて親睦をはかるとともに，サッカー競技の普及と向上をねらい，あわせてたくましい少年の育成を目的とする。

期　日　昭和53年2月11日(土)　12日(日)　19日(日)

主　催　静岡県サッカー協会　静岡県スポーツ少年団本部

主　管　静岡県サッカー少年団育成協議会　清水市サッカー協会
静岡県サッカー協会中東部支部

後　援　静岡県教育委員会　静岡県体育協会　清水市教育委員会
清水市体育協会　静岡新聞社　SBS静岡放送　ペプシコーラ

会　場　清水市営グランド　清水小学校　辻小学校　入江小学校
第三中学校　第四中学校

参加資格　静岡県サッカー協会，静岡県スポーツ少年団本部に登録されている単位少年団（選抜を含む）で静岡県サッカー少年団育成協議会支部主催の地区予選を経たチームで，選手は個人登録してあるものとする。原則として決勝には女子2チームを招待する。

チーム編成　代表者1名　監督1名　選手15名　合計17名

中央大会参加チーム数　小学生（10～12才）32チーム，中学生（13～15才）16チームとし，原則的に地元チームを加える。また不参加の支部があった場合，開催地区チームを補充する。

試合方法　トーナメント方式で行い，細則はサッカー少年団育成協議会にて決定する。3位決定戦を行う。

使用球　公認皮ばり4号（タチカラ）同中学生はぬいボール5号。

参加料　予選出場から，中央大会をふくめて3000円とする。但し今までは未登録チームも 10000円を出せば出場を認められたが，今回より認めない。

参加賞　中央大会出場チームに参加記念章を授与する。

表　彰　優勝チームには賞状並びに優勝旗（持ち囲り）優勝カップ（ペプシ杯），優勝者には記念メダルを授与する。
準優勝，3位，4位チームも表彰する。

申し込み　予選参加希望チームは所定の申し込み用紙にメンバーを記入した上，各支部の責任者に11月5日までに提出（厳守の事）
（地区予選は12月25日までに終了）
最終中央大会申し込みは各支部責任者が1月7日までにチーム・メンバー表を提出，当日までに申し込みのない場合は不参加として地元チームを補充する作業に入る。

細　則
(1)試合時間は小学生20－5－20，中学生25－5－25とし1，2回戦は延長5－5を行なった後PK合戦とする。但し，準決勝戦は10－10を行ないPK合戦とする。決勝戦は延長10－10を行い，なお決しない時は相方優勝とする。
(2)試合時間に間に合わない場合は失格とする。
(3)退場を受けた者は，本大会はすべて出場を認めないこととし日本サッカー協会に報告するものとする。
(4)試合における事故は本部にて救急処置は行なうが，その後は団または保護者の責任とするものとする。
(5)学校施設の使用は充分注意して行なうこと，フェアプレー賞はプレーだけでなく，その点も選考基準に入るものとする。

第5回全国選抜少年サッカー清水大会招待要項

主　催　清水サッカー協会

後　援　清水市教育委員会　静岡県サッカー協会　静岡新聞
清水市体育協会　読売新聞社　静岡放送

期　日　昭和52年12月25日PM1時～28日PM0時

招待チーム　大町　町田SSS　下落合　三菱養和　全宮城
神戸FC　枚方FC　広島大河　若松　伊賀上野
刈谷　全浜松　全藤枝　全焼津　全静岡　全富士宮
全富士　全庵原　粟野　甲府湯田　百合ヶ丘
清水FC6年　清水FC5年　清水FC4年

試合方法　25日　26日　27日……6チーム　リーグ戦
28日……4チーム　トーナメント

申し込み　清水市七ッ新屋 291　堀田哲爾

〆　切　10月5日　必着なきときは他より補充する。